

きこりんだより



平成27年
10月5日
NO. 40

近頃「これまで経験した事がない」気象現象が当たり前になるようになり、私達も日常のなかで、自然災害を意識して生活していかなければならなくなりました。

きこりんでも、日々子ども達と向き合いながら、「以前は、こんなことは注意しなくても良かったのに・・・」ということに出会います。

その都度、どうしていいかと真剣に話し合います。

そして、「子ども達の良さを認めつつ、良くないことは良くないと伝え、子ども達が自ら気づいて直せるように、根気よく声かけをしていきましょう」と確認しています。



きこりんを利用する子ども達と接し、その素直な心や、やさしい心遣いに触れ、うれしい気持ちになることもあれば、子ども達の発した何気ない言葉に、はっとさせられることもあります。

そんな時、ちょっとでも子ども達の心に寄り添えたと感じられたときは、格別な思いです。

私達は、大人として恥ずかしくない姿を子ども達に示せるように心がけながら、一緒に過ごせる時間を大切に、奥多摩の子ども達を見守っていきたいと考えています。



わさびーから福祉会館ふくしかいかんを利用しているお友達ともたちへ

いつも福祉会館ふくしかいかんを利用してくれてありがとう！「福祉会館ふくしかいかんの使いかたつか」をよ読んで

ひとりひとりが、大切にたいせつ使ってくれるようになってくれてうれしい！もしもまだ、

よ読んでいないお友達ともたちは福祉会館ふくしかいかんに掲示けいじしてあるのでぜひ読んでみてほしいな。

みんなで使う場所つかをひとりひとりがマナーまもを守って、大切にたいせつ使うことで、

だれ誰もが気持ちよく使える場所つかでありますように。



相談等の予約・問い合わせ等

奥多摩町子ども家庭支援センター きこりん 電話 85-2611

*相談専用メールアドレス：kikorin@town.okutama.tokyo.jp

*相談専用電話 85-1788



活動の紹介



この夏もきこりんでは、「絵本といっしょ」や「ぴよぴよ☆ひろば」の水遊びでお母さんと子ども達の笑顔があふれていました。ここでは熱心に学んでいる子ども達とお母さんの様子をご紹介します。

「子どもの応急対応

～こんなときはどうする？その2～」7月7日

奥多摩消防署のご協力で、今年も誤飲除去や心肺蘇生法、AEDの使い方等の体験をしました。講師の齊藤和範消防士をはじめ消防署の皆さん、ありがとうございました。



寄せられた感想から

- ・細かく実技をしていただいたので、頭に入りやすかったです。
- ・はじめてAEDに触れることができました。
- ・誤飲を防ぐ環境づくりが大切だと思いました。
- ・毎年の確認を大切だと思っているのでこれからもお願いします。



「あそびの広場・理科教室」8月24日

～不思議に挑戦～

NPO法人 子ども・宇宙・未来の会 講師 市川先生をお招きして、今年も科学の面白さを体験しました。参加した小学生からは、「ロケットはまっすぐ飛ぶのに、風でくると向きを変える風見鶏と原理が関係しているのが面白かった。」という感想が聞かれて、子ども達は理論と実践を通して、科学の不思議と面白さに、目を輝かせていました。

